

愛知教育大学 障害学生支援団体「てくてく」

学生コーディネーターとは？

愛知教育大学の聴覚障害学生支援団体「てくてく」は学生コーディネーターが主体となり、テイカーの募集や割り振り、パソコンテイクの練習会等を行なっています。

「てくてく」でのコーディネーター業務

・テイカー募集活動

4月当初に行われる新入生、在学生向けガイダンスの時に聴覚障害学生と共に活動内容を発表し、募集活動をしている。その時にパソコンテイクで起こした文字をスクリーンに映し出してアピールをしている。

・テイカーの割り振り

新学期に各テイカーが空いている時間をネットを通じて登録する。聴覚障害学生の授業の状況と必要な情報保障手段を相談し、上記の情報と照らし合わせ、以下を条件にテイカーの割り振りを行う。

- ・1日1回、週に2コマ以下とする。
- ・所属、学年が異なる人と組む。
- ・テイクの経験の少ない人は、半期以上通してテイクを経験した人と組む。

・テイカーの集まり、練習会の企画

テイカーのモチベーションの維持、向上を図るため、意見交換を行う集まりや、円滑に情報保障を行うためのスキルアップ練習会などを開催している。

・お昼の集まり

毎週月曜日と木曜日のお昼休みの3,40分を使って、一緒に昼食を取りながら、テイカー同士の交流を中心とした集まり。

・聴覚障害学生、テイカーからの相談受付

聴覚障害学生、テイカーから出る要望のなかで特に相手(教員などを含む)に対して言い難いことをコーディネーターが受け、対策を考える。

スキルアップ練習会

- ・模擬授業による連携練習
- ・指文字、手話講座
- ・手書きノートテイク講座
- ・支援に使う機器の使い方
- ・遠隔支援システムの使い方の説明

集中スキルアップ練習会

時間の都合上、普段のお昼の集まりでは行うのが難しいことをするために集中的な練習会を大学祭期間中や長期休暇中を利用して行なっている。

遠隔システムを使ったスキルアップ練習会

自宅など、インターネットに接続できる環境なら、どこでも行うことができる遠隔支援システムを使用した、あまり時間に縛られない自由に行える練習の場を設けている。

学生コーディネーター経験者の声

- ・自分の科以外のたくさんの学生と交流ができたこと。
- ・聴覚障害学生と触れ合うことで、自分の知らない世界がまだあるんだなという事を知る良いきっかけになった。
- ・シンポジウムなどでいろいろな人の話を聴く機会が増え、多くの刺激を受けたのはとてもいい経験だった。

- ・急なテイクの要請をお願いをしても、テイカーが二つ返事で引き受けてくれたテイカーが数多くいたのはありがたかった。
- ・定期的にテイクに入ることのできないテイカーのモチベーションの維持が大変。
- ・聴覚障害学生、テイカー、大学の事務局・教員といった多方向に渡る連携が必要でとても気を使った。

問い合わせ先

愛知教育大学 情報保障支援学生団体「てくてく」 代表:岩丸雅則

連絡先(e-mail: tekuteku@t.ics.aichi-edu.ac.jp)